

令和7年度 調布市立第三中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標		
【令和7年度重点】 ○1自ら学び考え、向上しようとする人 2 自他を思いやる、心豊かな人 3 心身を鍛え、たくましく生きる人		
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像		
生徒が将来に希望をもち、夢の実現のために基本となる社会的な力を育成し、情操面をはぐむ指導を行う。心身を鍛え、たくましく生きる力を高める指導、主体的な学びを促す指導、互いの違いを認めることで思いやる気持ちを醸成し、育む指導を行う。 教師は指導において少し高めの目標を生徒に示し、困難を乗り越える力をはぐみつつ、個性を尊重し、受容的、共感的、肯定的な雰囲気兼ね備えた指導を行う。		
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)		予測困難で、不安定な国際状況に生きることになる生徒たちに、自ら考え、情報を精査、判断し困難を乗り越える力が必要な時代であることから、心身の強さを意識した教育活動が必要であるから。
教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	予測困難で不安定な国際状況に生きることになる生徒たちに、自ら考え、情報を精査、判断し困難を乗り越える力のために必要なコミュニケーション力を育む。生徒が将来に希望をもち、夢の実現のために基礎基本となる言語力を育成する。	伝統的な言語文化の学習を通して現在の言語文化の成り立ちに親しませ、知識に裏付けられた豊かな言語感覚を培う。 ペアワークやグループワークなど話し合い活動を通じて、コミュニケーション力を育み、受容的、共感的、肯定的な雰囲気の中で夢の実現のための表現力を主体的に模索させ、考える力を育成する。
社会	不安定な国際状況に生きることになる生徒たちに、自ら考え情報を精査判断する力を育て、生徒が将来に希望をもち、夢の実現のために基本となる社会的な力を育成する。	過去の歴史から、様々な国際状況の中で先人がどのように失敗し、乗り越えてきたかを学び、世界を広い視野で見ながら自ら考え情報を精査判断する力を育て、生徒が将来に希望をもち、夢の実現のために基本となる社会的な力を育成する。
数学	自らのキャリアを構築できる力を育てる。	数学の学習を通して、事象を論理的、統合的・発展的に考える力を養う。学習の振り返りや協働学習の中でメタ認知力を高め、自らのキャリアを構築できる力の基盤とする。
理科	自ら学び向上しようとする力を高め、自らのキャリアを構築できる力を育てる。	主体的・対話的な学習を授業の中に取り入れ、科学的思考を必要とする探究的活動を行う。
音楽	課題を解決するために、自分を客観視に必要な技能を見極め、課題解決のためにどのような技能を応用できるかを考えられる力(=キャリアを構築できる力)を育てる。	自分の技能を客観視するための観点を提示し、よりよい技能レベルへ到達するため、個別に指導を行う。また、表現のための方法をいくつか提示し、生徒が曲と対峙する際にそれらの方法を手掛かりに問題を解決(表現の工夫)していく。
美術	多様な価値観を認められる心を育て、象徴的な視点から感じたこと、考えたことを他者に伝えることができるコミュニケーション力を育成する。	制作活動や鑑賞の活動を通して、「自分はどうか考えたか、どう感じたか、どう思ったか」などを表現する時間を設定し、生徒自身が造形的な視点で考えや価値観を表現できる力を養わせる。
保健 体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、少し高めの課題設定に対して合理的な解決にむけた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する	運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康安全について理解すると共に基本的な技能や応用にも挑戦させる。 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断し他者に伝える力を養うようにする。 生涯にわたって運動に親しむと共に健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うようにする。
技術・ 家庭	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養うようにする。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うようにする。
外国語 (英語)	生徒が将来に希望をもち、夢の実現のために基本となる社会的な力を育成する。そのために自身の意見を主張するコミュニケーション能力や他者との違いを理解できる寛容性を育成する。	既習文法を用いて自己表現をする機会を常に設けて意見を共有し合うことを積み重ねる。様々な国の文化や習慣の違いに触れて多様性の大切さを理解する。ペアやグループ活動の中で人間関係の構築を目指す。社会的な問題に対しても多様な表現で意見を述べられる力を育成する。
道徳科	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養い、自己を見つめ物事を広い視野から、多面的・多角的に考え、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。	様々な教材や命の授業を通じて、互いの違いを認め合い、よりよく生きようとする心を育成する。主体的・対話的で深い学びを目指して生徒が自ら考えを深め、他者との意見交流により物事を広い視野で多面的・多角的に考え、道徳的な判断・実践ができるような教育を実践する。